

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

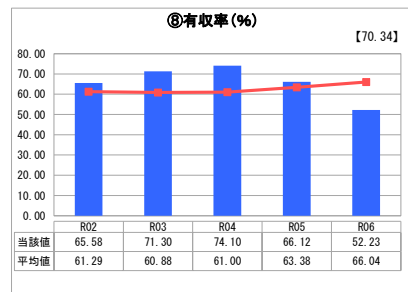
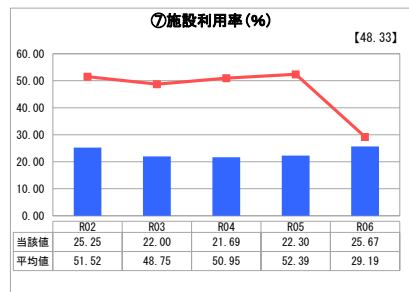
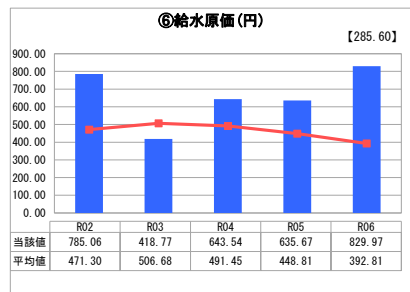
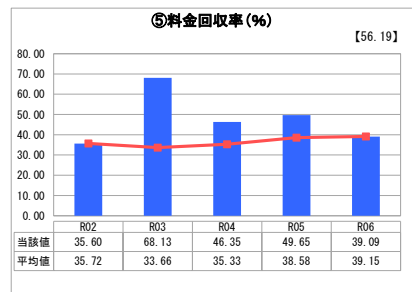
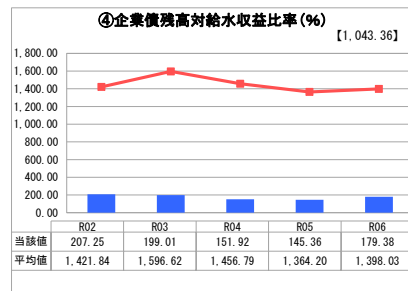
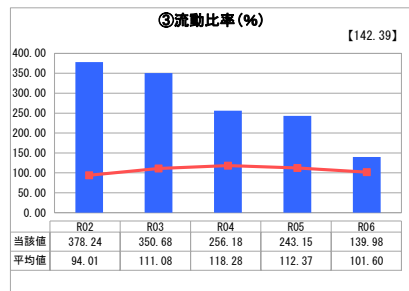
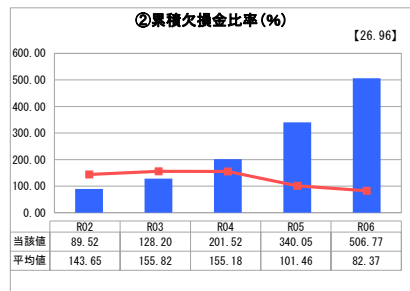
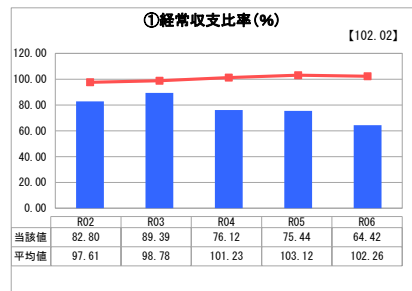
山形県 山辺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり客単料金(円)	
-	93.47	2.62	5,450	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,344	61.45	217.15
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
348	4.41	78.91

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

①令和4年度に料金改定を行ったものの、令和5年度末のシステム更新などにより支出が増大したことで、健全経営の水準とされる100%をさらに大きく下回っているため、支出削減による経営改善を図っていく。

②純損失が積み重なり年々増加傾向にある。当金は支出の削減などによる経営改善を図っていくが、再度料金改定も視野に入れて検討していく必要がある。

③令和5年度に比べ預金の減少が大きく、流動比率が減少傾向にある。年々流動資産が減少しているため更に注視する必要がある。

④類似団体と比較しても低く、適正な経営ができていないものとする。

⑤類似団体と同等の水準であるが、100%を下回っている。引き続き適切な料金収入の確保と費用削減に努める。

⑥給水区域の人口減少により、今後也有収水量が減少していくことが見込まれる。施設維持管理費は大きく変動しないため、給水減価は年々増加する傾向にある。

⑦類似団体と比較しても低く、施設使用率は減少傾向にあるため、施設更新時には適切な規模となるようダウンサイジングの検討を行う。

⑧類似団体平均より下回ってしまっているため、配水管内の漏水箇所を特定し修繕するなど、配水量縮減の対策を講じ、数値を100%に近づけたい。

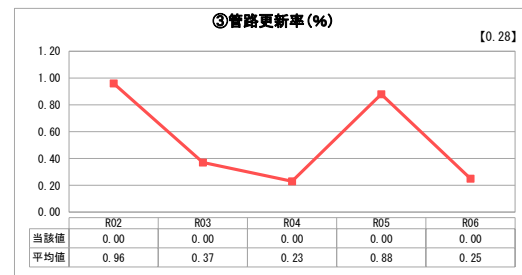
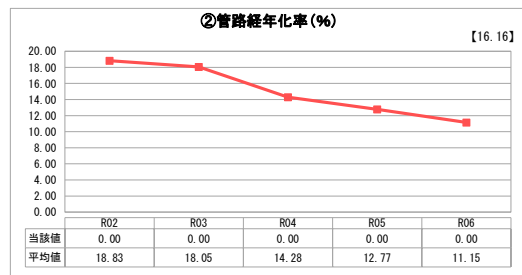
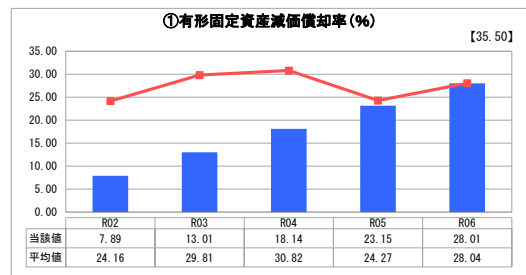
### 2. 老朽化の状況について

平成10年に供用が開始され、施設及び管路の老朽化が進んでおり、一部耐用年数が超過した機械設備を使用している。

異常が発生した場合は、ただちに原因の究明と修理等をその都度実施しているが、管路からの漏水の場合には管路の法定耐用年数が超過していないため、管路更新ではなく修繕として対応する。

定期的な点検と更新により施設の長寿命化を図り、投資の平準化に繋げたい。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

給水人口の減少に伴う有収水量の減により、給水収益が今後も減り続けるであろうことが大きな課題である。経営状況はさらに厳しくなることが予想される。

管路更新については財源の確保や受益者負担の点から困難が予想されるが、料金改定の定期的な検討による適正な料金収入の確保を推進し、費用削減に努め、健全経営を図るべく努力していく。

令和7年度中に経営戦略を見直し、令和8年度から計画に基づき、収入確保のため料金改定の準備を進めつつ、設備更新ではなく修繕による対応で費用削減を図り、近年の物価高騰にも対応できるよう努める。